

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	琉球大学病院 Rapid Response Team の 4 年間の活動分析 -カルテを用いた後方視的横断研究-
当院の研究責任者 (所属)	関口 浩至（琉球大学医学部保健学科成人・老年看護学講座在宅・慢性期看護学領域）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	本研究は、当院入院中の患者さまの急変の予防・対処を担うチームである Rapid Response Team（以下 RRT）の、4 年間の活動を分析することを目的としています。具体的には、RRT 活動記録と RRT の介入を受けた患者さまのカルテを用いて、①急変する前の兆候（例えば、血圧等のバイタルサインなど）に変動が見られた時点で RRT が介入できているか ②RRT 対応後の患者さまの予後（病状の経過）はどう推移しているか の 2 点を中心に解析し、RRT 活動がどのように役立っているかを評価します。 また、本研究の結果は、当院 RRT による院内急変への対応の質の向上に寄与すると考えています。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日
調査データ(該当期間)	2021 年 1 月～2024 年 12 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	●対象となる患者さま ①2021 年 1 月から 2024 年 12 月の期間に琉球大学病院において入院加療中の 20 歳以上の患者さま ②病棟からの要請により琉球大学病院 RRT の介入を受けた患者さま <u>但し、ご本人または代理人の方から参加拒否の申し出があった場合は、本研究の対象より除外します。(ただし、解析終了後はデータの削除は不可能となりますのでご了承ください)。</u> ●利用する試料・情報 ① 診療録（カルテ）に記載の、以下の情報を利用します。 ・ 一般情報（年齢、性別、既往歴、現病歴、手術歴、診断名） ・ バイタルサイン（体温、血圧、心拍数、呼吸数、SpO₂） ・ その他（尿量、意識レベル、RRT 要請理由）

	② RRT 活動記録に記載の、以下の情報を利用します。 ・ 日時（記録日、記録時間、要請日、要請時間、到着時間、対応後回診予定日） ・ 患者情報（回診回数、診断名、患者所見、気になる身体所見、患者の背景、アセスメント、転帰） ・ その他（参加者、要請診療科・部署、該当する基準、推奨/施行処置）
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
試料・情報の二次利用	なし
個人情報の取り扱い	調査により得られた患者さまの情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化をします。個人情報の管理は、保健学科在宅・慢性期看護学領域で行います。また、匿名化に用いる対応表は、608室内の施錠できる書架で管理します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切使用しません。
本研究の資金源 （利益相反）	本研究に関わる研究費はありません。本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従って必要事項を申告し、その審議と承認を得ます。
お問い合わせ先	電話：098-895-1274（内 1274） 担当者：関口 浩至（琉球大学医学部保健学科成人・老年看護学講座在宅・慢性期看護学領域 准教授）
備考	